

| | | |
|--------|-----------|------------------------------|
| 一般 | 900円→800円 | 本券にて1名様に限り左記 割引料金で入館できます。 |
| 高大生 | 600円→550円 | |
| 小中生 | 300円→250円 | |
| ※コピー不可 | | |

本券をチケット売場にお出しいただき、
1名様に限り無料で入館できます。

※コピー不可

メナード美術館 コレクション展Ⅱ

期間：2021年1月6日(水) - 4月11日(日)

前期 1月6日(水) - 2月21日(日)

後期 2月23日(火・祝) - 4月11日(日)

休館日：月・金曜日(ただし1月11日(月・祝)は開館)、1月12日(火)

年末年始休館 2020年12月21日(月) - 2021年1月5日(火)



展覧会の詳細は
メナード美術館ホームページへ！

尾形光琳 《三十六歌仙図》 ※前期展示

制作：18世紀(江戸時代中期)

形質：紙本金地彩色、屏風(二曲一隻)

サイズ：タテ 165.5cm ×ヨコ 184.0cm

平安時代中期の歌人・藤原公任が選んだ36人の和歌の名手は「三十六歌仙」とよばれ、鎌倉時代以降、さまざまな歌仙絵が描かれてきました。その多くは歌人たちの単独の肖像に和歌や来歴が添えられた形式が主でしたが、本作で尾形光琳は、本来なら別々の時代に生きたはずの歌人たちをまるで歌会を催すかのような群像として描きました。

歌人ひとりひとりの顔は個性的で、表情も生き生きとしています。しかし、画面上の歌仙像は35人しかみえません。高貴な身分の斎宮女御だけ、そのお姿を几帳の中に隠しているという機智に富んだ構成です。光琳の洒脱な感性が感じられる作品といえるでしょう。

お得な割引

リピート割…「メナード美術館コレクション展Ⅰ・Ⅱ」の入館済みチケットの提示で、会期中2回目以降の入館料が半額になります！

※おことわり

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から密集を避けるため、2021年は新年の「カレンダー付き入館券の販売」を行いません。

メナード美術館

MENARD ART MUSEUM

▶開館時間 午前10時～午後5時(入館は4時30分まで)

▶入館料 一般900円 高大生600円 小中生300円

▶問合先 ☎75-5787

▶URL <https://museum.menard.co.jp>

▶休館日 月・金曜日

▶ところ 〒485-0041 小牧5-250

